

## 冬空に想う

灰色の雲が  
静かに空を覆って  
西の山々は うっすらと白くなり  
里にもやさしい雪が降り始める頃

雲の切れ間から注ぐ やわらかな光  
すると 瞬時にして現れる  
大きな大きな虹色のアーチ

冬の虹  
真っ白な世界になる前の  
神様からのちいさな贈りものだろうか

自然の不思議を感じながら  
今日の虹を 心に映して  
ひそやかな季節を 心豊かに過ごして行こう

## 目次

- P1 味あらかると
- P2 ぴよぴよぴぴっとクラブ
- P3 虹のひろば・さんやそう
- P4~5 子どもぴぴっとクラブ通信
- P6 Q&A・入賞おめでとう
- P7 まうすりいだより
- P8 新聞まめちしき・冬だより・  
編集後記



## 味あらかると

今年、「義務教育費国庫負担制度」と「三位一体の改革」について関心を持たざるを得なかった。

義務教育費国庫負担制度は、義務教育の機会均等と教育水準の維持向上は、国の責任 憲法の要請に基づく義務教育については、目的を特定した国による財源保障が必要。 国が義務教育費を保障するのは先進主要国の潮流 義務教育は国民を育成するもの。 主要先進国は義務教育を国家戦略として位置づけており、国が義務教育費を負担する方向へ 国庫負担金の一般財源化は、地域格差を生じさせる 一般財源化されれば四〇の道府県で財源不足。これは地方交付税では調整できず、結果として地域格差が生じる。すなわち、全国どこでも良質の義務教育がひとしく無償で受けられるように必要な財源が国の責任で確保されている。これが義務教育費国庫負担制度である。しかし、政府はこの制度の廃止を検討している。「三位一体の改革」の名のもとに！

三位一体の改革とは、地方が自らの創意工夫と責任で政策を決め、自由に使える財源を増やし、自立できるようにするため、「改革と展望」の期間中(平成一八年度まで)に 国庫補助金負担金の改革(四兆円程度を用途に廃止・縮減等の改革) 地方交付税の改革(財源保障機能の縮小) 税源配分の見直し、を三位一体で進めることである。

教育は国家百年の大計である。未来への投資として惜しむことなく投資すべきであり、その怠りは必然的に日本の衰退につながる事となる、と思うのであるが皆さんはどうお考えですか。

# 子どもの心を耕す読書のすすめ

今回からは、年齢別に具体的な本の内容を紹介することにします。



<0歳～2歳ごろ>

## こんな本を読み聞かせて見ませんか

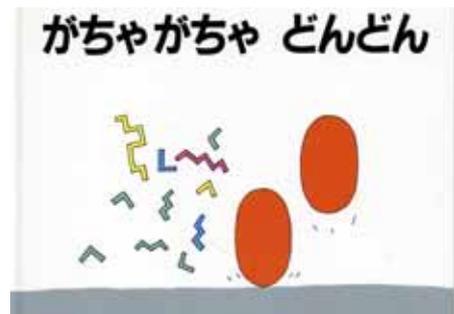
表紙を見ただけで、絵と音の組み合わせを楽しむ本であることがわかる。

「がちゃがちゃ どんどん」の題字を読んだとたんに、自然に体が動き出すような気分になる。特に幼児は、繰り返しの言葉やリズム的な言葉に興味を持つことから考えると0～2歳ごろの子どもにはぴったりの本といえる。

「かーん かーん」「ぐにゃ ぐにゃ」と同じ音を繰り返す擬音語や擬態語。「ざあー」「ごー」「がちゃん」「ぶわあ」「ぼきん」等の迫力満点の音と絵、読むほうも自然に力が入る。

「ちん」「とぼん」「ぴちゃ」等のかわいい音、「さら さら」とやさしい音、子どもたちの笑顔が広がる「ぶすん」「ぶ」というなんともいえない音と絵、読み手の表現の仕方ですべて子どもたちは絵本の中に吸いこまれてくる。絵と言葉の組み合わせにより、子どもたちの想像力を育てる絵本といえる。

お母さんが子どもをひざにだっこして一緒に絵を見ながらやさしく語りかけて欲しい一冊である。



元永定正 さく（福音館書店）



お茶の花

## さんやそう

12月になった今、茶の花が咲いている。夏椿（シャラン）を一回り小さくした小型の花で、白い花弁に中央には黄色い雌しべが密集している。

ツバキによく似た花であり、葉も常緑で似ているところから茶はツバキと親戚なのかもしれない。

茶は暖地の植物というイメージが強く、ましてや雪がチラホラするこの時期に開花とは、誰もが思いの外であろう。ところが茶の木は結構寒さには強く、雪への

備えに困いをすれば何の心配もなく育ってくれる。隣町の湯田町の親戚の家には、かなり以前から茶の木があり、1メートルを超える大木になっている。私の茶の木は、北上の兄から昨年もらったもので、挿し木ですぐ根が着くとのこと。来年は厳しい冬に耐えた雪国のお茶が飲めることを楽しみにしている。

（文・写真提供 / 沢内村 大石 信夫氏）

# 虹の ひるば

沢内村川舟保育所  
所長 佐藤 りき子

## 川舟地区の地元学を活用して

川舟地区には沢山の昔話があり、その発祥の地もはっきりしていると思われる。10月24日(日)、地元学を川舟地区でやるということだったので参加してみた。地区のおじいさん、おばあさんたちと一緒に歩きながら、期待したとおりお宝を見つけることができ、園児にも散歩の機会にこの宝を伝えてやれば、大人になってからもふるさとを感じてもらえるかもしれないと思った。

11月17日、晴れ間もあるけど時々雨と風というお天気であったが、ひまわり組は傘をさして「川舟の家」を目標にして散歩をした。

道中「にぎりめしごろごろ」のお話に似ているが「おじいさんがお地蔵様の手にのる話」をしながら歩いた。子どもたちは、途中川舟十文字(なめとこライン入り口)のところにあるお地蔵様を見つけると、一斉に手を合わせて拝んでいた。その様子は本当にかわいいものであった。



昔話に出てくるお地蔵様の前で



## 「川舟の家」の囲炉裏を囲んで

日本の物語には、よくお地蔵様が登場するが、絵本「にぎりめしごろごろ」(小林 輝子 再話・赤羽 末吉画)のお地蔵様のモデルになっている(赤羽さんがこの素朴なお地蔵様を気に入って)というから、なおさら絵本とこのお地蔵様をよく観察したくなる。金四郎おじいさんの話から、このお地蔵様が子宝のお地蔵様であり、赤ちゃんが無事産まれてくるように又名前をつけてからも拜んだり、元朝参りもしているということがわかった。

そうしているうちに、かやぶき屋根の「川舟の家」に着いた。

管理人の広瀬さん夫妻の準備してくださった、薪や炭を使った囲炉裏の火に、冷えた身体を暖めながら「顔だけ熱いね」「これは炭なの?木なの?」「ここに子どもがいないの?」「寝るところはどこなの?」「おもちゃはどこ?」などなど囲炉裏の火を不思議そうに見入る子や、昔話の絵と重ねてイメージしている子もいた。身体も暖まり火についての質問も終わってから、千賀子先生から沢内の民話「鬼っこ庄兵衛」や「和賀川のカッパ」のお話をしていただいた。また、紙芝居で「熊ときつね」(村内のボランティアが製作したもの)を見せていただいた。その後古民具を見て回り、心も身体も暖まったところで帰ってきた。

方言もあり、園児には難しい部分もあったが、カッパの足型を残した立石にも、そのうちに行きたいと思った(その後、ゆり組・ばら組は、立石のカッパの足あとを見るために散歩をした)。

この険悪な世の中、こうした「地元学」というユニークな経験を通して、せめて幼児期はスローライフ、スローフードを味わってもらいたいと思うことしきりであった。そして、これからも地域の人々の協力をいただきながら、大いに「地元学の活用」を保育活動の中に生かしていきたいと考えている。

# かるたづくりで

# 頭をひねって……

「子どもぴぴっとクラブ」通信



平成16年11月20日(土)  
北上市生涯学習センターにて

今年度4回目の子どもぴぴっとクラブ。もうすっかり仲良しになった子どもたちは、和気あいあいとした雰囲気の中、いきいきと活動しました。

お正月も近づいてきたこの時期、書くことに重点をと、今回は新聞に関連したかるたづくりに挑戦です。

初めに、山形県新聞教育研究協議会が作成した「新聞カルタ」でかるたとりをして遊んだ後、一人ひとりくじ引きで決まった五十音で読み札作り。その後、絵札を作成。思い思いのかるたが完成しました。

低 学 年

新聞に関連した読み札づくりは、低学年の子どもたちにとってかなり高度。そこで、新聞からさがした言葉で読み札を作りました。



真剣なまなざしで新聞(朝日小学生新聞)を読んでいます

お  
おかあさん  
おいしいごはんありがとう

に  
1100円  
いろいろあったオリンピック

め  
めんじやん  
はなすのはやいよアナウンサー



「これは使えるかな」

高学年の子どもたちはさすが。与えられた五十音で新聞に関連した読み札を見事につくりあげました。



絵札もていねいに



岩手日日新聞を使って

と 登校中 ゆづかいされた記事ばかり	ほ 星がきれい でも新聞屋さんには仕事中	も もくもくと 新聞配達してくるおっさん	む 難しい記事ばかりで わからない	ゆ ゆづくりと新聞読んで 今を知ろう
--------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------	--------------------------

新聞づくりに  
挑戦しよう!

### 「冬休み新聞づくり特別教室」を開催します

日 時	平成17年1月8日(土)	参加費	無料
	10:00~15:00	準 備	筆記用具・昼食
会 場	北上市生涯学習センター	対 象	小学生
	「遊・YOU学園」会議室		

冬休みのこの機会に、一日じっくりと新聞づくりを楽しく学んでもらおうと、企画しました。

新聞づくりに役立つ、用語や記号を教えてください。

(北上市 小学生)

新聞づくりに役立つ、用語や記号には 活字、書体、約物(やくもの)、罫線、コラム、見開き、エトキなどいろいろあります。今回は、約物(やくもの)について考えてみましょう。

約物(やくもの)とは、印刷用語で文字・数字以外の各種記号活字の総称を言います。

## 1. 区切り記号

- |    |            |    |             |
|----|------------|----|-------------|
| 、  | 読(とう)点。点   | ！！ | 二つ雨だれ       |
| 。  | 句点。マル。はしまる | ！  | 斜め感嘆符。斜め雨だれ |
| ・  | 中黒。中ポツ     | ！！ | 斜め二つ感嘆符     |
| ・  | ピリオド。ポイント  | ？  | 斜め疑問符       |
| 、  | コンマ        | ！？ | ダブルだれ       |
| :  | コロン        |    |             |
| ;  | セミコロン      |    |             |
| ?  | 疑問符。耳だれ    |    |             |
| ?? | 二つ耳だれ      |    |             |
| !  | 感嘆符。雨だれ    |    |             |

いくつ言えましたか。つづきは次号に

入賞おめでとう OMEDETOU オメデトウ omedetou おめでと  
う

平成 16 年度岩手県小中学校新聞コンクール入賞者 <北上市関係>

<小学校個人新聞の部>

最優秀賞 1年 佐藤奈々美 (煤孫小)

優良賞 1年 澤藤なつ美 (煤孫小)

優良賞 2年 及川友理菜 (黒岩小)

優良賞 2年 田鎖明日香 (煤孫小)

<小学校スクラップ学級の部>

優良賞 黒沢尻北小 6年 3組スクラップ友の会

赤坂由香 阿部昌英 深沢潤一 十文字隼人 工藤健 高橋彩野

<小学校スクラップ個人の部>

優秀賞 6年 高橋 彩野 (黒沢尻北小)

優良賞 3年 長谷川奈々子 (煤孫小)

# 『私のまうすりい効果』を大切に

濱 智子

まうすりいだより①  
参加者寄稿のコーナーです

新聞を読んで今を語る会（通称まうすりい）に参加することで  
新聞の読み方、楽しみ方を学びました

記事やニュースを読んでも、人により受け止め方の違いがある  
興味を持って読む内容も、年代や立場によりみなそれぞれ違う  
全国紙と地方紙には特徴があり、その役割や面白さがある  
読み比べることで、記事やニュースを多角的に受け止められる



新聞を読んで今を語る会（通称まうすりい）に参加することで  
新聞を読み、語り合うことの喜びを知りました

一人でじっくり読む、心の余裕を大切にしたい  
仲間や家族と語り合うことの喜びを大切にしたい  
新聞を通して、心を常に社会へ向けられる日々を大切にしたい

**新聞を楽しみながら読み、語り合う喜び それが「私のまうすりい効果」**

新聞を読んで心に残ったこと（10月）「私のまうすりい効果」

<新聞週間の標語>

- \* 一面から 読むようになった十五の春
- \* 知る権利 しっかり支える確かな紙面
- \* 真実を伝える勇気 待つ読者
- \* 新聞で広がる視界 定まる視点
- \* 今を読む 世界を感じる明日を知る
- \* 映像の時代に 活字の存在感
- \* 真実を 読みたい知りたい考えたい
- \* ふるさとの 未来をつくる地方記事

新聞を読んで今を語る会（通称まうすりい）は、「ちょっと知的な井戸端会議」を合言葉に複数の新聞を読み比べ、社会情勢から身近な出来事まで、いろいろな事柄について楽しくディスカッションしながら、おたがい刺激あって自分を高めていくことを願いスタートした会である。びびっと研究会では、平成13年4月より「まうすりい」を開始。平成16年11月現在44回を数える。

毎月第2火曜日、10時から12時まで北上市立黒沢尻北公民館を会場に開催中。  
参加希望者はどなたでも大歓迎！！

ある日の朝、いつものように目覚め、いつものように少し時間を感じながらシャキッと起き上がる。予定だった。グキッ「なにやらかすかに鈍い変な音がした。」あれ？「なんだか背中から首にかけて鈍い痛みが。そうなのだ、首が回らなくなったのである。とは云うもの朝は忙しいとありあえず、知らぬ顔を装いつつぎこちない動きで朝を乗り切った。

それから何日かは不自然な動作に家族の失笑を受けながら、じぶんの情けなさをちよっぴり味わう事になった。まあ、それでも少しはいい思いをしたところもある。ひとは夫や子供たちがなんだかんだと言いながらも家事を手伝ってくれた事、もつひとは少々笑いのにしながらも貼りにくい背中部分に子供たちが湿布を貼ってくれた事である。

「悪いけど貼ってくれない？」  
「「「「何んか？」」「そうそう、それ」「あれ、違うもつ少し右ー」」  
高校生の息子はにやにやしながら

いたずら心よろしく必ず一度は少しずらして貼って楽しんでる。でも、そんなやりとりがなんだかつれしい。

みんなの失笑ぐすりが効いたのか、一週間足らずで湿布薬にも執着しなくてもよくなった。いっの間にかよくなっているものである。それに付けても今回感じたのは、やはり日ごろの運動不足である。考えてみれば、何年か前には、ほんのちよっぴりでも体を動かす機会があった。しかし「数年はバス行くのも車だし、ほとんど自分で歩くこととはなくなっているのだからでは自然とからだ

衰えて行くに決まっている。そしてなにより「Gym」も、少しずつふくよかになりつつあるような気がするのだ。そつだ、心機一転、これを機会にからだにいいことを少し始めて行こう。Gymで宣言すれば、背水の陣できっと実行するぞだぞ( )



このコーナーは会員が最近感じたこと、出来事など交代で担当します。

(Y)

新聞まめちしき

その16

新聞で花婿募集

明治 14 年 5 月 20 日付け「東京横浜毎日新聞」には当時としては前代未聞だった「花婿探しの広告」が出された。

石川県の父親が依頼したもので、「娘の年齢が 16 で、三味線の稽古も怠りなく近所の評判も宜しく、目はぱっちり口元やさしく色白」と親が並べた娘の形容には泣かされる。

新聞の新しい効用が出現したひとコマであった。

(「太陽コレクションかわら版新聞」より)

編集後記

2004 年も歳の瀬となりました。色々なことがあった 1 年ではありましたが、わたしたち

『びびっと (PPT) 研究会』も無事 1 年の活動を終えることができました。

来る 2005 年も会員一同手を携えて、少しずつ前に歩んで行けたらと思っています。よいお年をお迎えください。

ご意見・ご感想をおまちしております

びびっと (PPT) 研究会

024-0012

岩手県北上市常盤台 1-14-12

TEL・Fax 0197-64-0758

E-mail : agi@titan.ocn.ne.jp

ホームページ:www.npo2000.net/~ppt/